

注3

大学番号：私136

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

神奈川工科大学 工学部 臨床工学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人幾徳学園

平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 経営管理本部 総務課

職名・氏名 ソウムカチョウ オカワ マナミ  
総務課長 小川 真奈美

電話番号 046-241-1214

（夜間） 046-241-1214

F A X 046-241-6828

e-mail soumu@kait.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 工学部

<臨床工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1－4
2. 授業科目の概要	5－15
3. 施設・設備の整備状況、経費	16－17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18－19
5. 教員組織の状況	20－30
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32－34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人幾徳学園

## (2) 大学名

神奈川工科大学

## (3) 大学の位置

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカベ ケンイチロウ) 中部 謙一郎 (平成14年8月)		
学長	(コミヤ カズミ) 小宮 一三 (平成21年4月)		
学部長	(ナルミ アキラ) 鳴海 明 (平成27年4月)	<del>(タナベ マコト)</del> (コムロ タカノリ) 田辺 誠 小室 貴紀 <del>(平成28年4月)</del> (平成29年4月)	学部長任期満了のため (28) 学部長定年退職のため (29)
学科長等	(マツオ タカシ) 松尾 崇 (平成27年4月)	(マツダ ヤスヒロ) 松田 康広 (平成29年4月)	学科長任期満了のため (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 臨床工学科 学士(工学)	工学関係	4年	40人	0人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 ( - ) [ - ]	-	1.10倍							
志願者数	253 ( - ) [ - ]	-	175 ( - ) [ - ]	-	220 ( - ) [ - ]	-	240 ( - ) [ - ]	-		
受験者数	246 ( - ) [ - ]	-	171 ( - ) [ - ]	-	206 ( - ) [ - ]	-	235 ( - ) [ - ]	-		
合格者数	103 ( - ) [ - ]	-	105 ( - ) [ - ]	-	74 ( - ) [ - ]	-	123 ( - ) [ - ]	-		
B 入学者数	44 ( - ) [ - ]	-	47 ( - ) [ - ]	-	47 ( - ) [ - ]	-	39 ( - ) [ - ]	-		
入学定員超過率 B/A	1.10		1.17		1.17		0.97			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	44 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	48 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	48 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	39 [ - ]	- [ - ]	
2年次	/		43 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	47 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	48 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		39 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	43 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	
4年次	/		/		/		39 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	44 [ - ] ( - )		91 [ - ] ( 1 )		134 [ - ] ( 2 )		169 [ - ] ( 2 )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	44人	3人	平成27年度	3人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人) 学力不足(1人)
平成28年度	91人	1人	平成27年度	1人	0人	転科(1人)
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	134人	8人	平成27年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成28年度	6人	0人	家庭の事情(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 転科(2人) 除籍(1人)
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	169人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	438人	12人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{44} = \boxed{6.81} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{91} = \boxed{1.09} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{134} = \boxed{5.97} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<工学部 臨床工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育科目	スタディスキル	1前	1								兼1
	生命倫理	3前後	2								兼1
	暮らしの経済	1後・2前後	2			1					兼1
	日本国憲法	1後・2前後	2			1					兼3
	日本近現代史	1後・2前後	2								兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後	2			1					兼1
	アジアの文化と社会	1後・2前後	2								兼1
	少子高齢化と社会問題	1後・3前後	2				1				兼1
	マスメディア論	1後・2前後	2				1				兼2
	宗教と倫理	1後・2前後	2								兼1
	比較文化論	1後・2前後	2				1				兼1
	芸術論	1後・2前後	2								兼1
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2								兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2								兼1
	現代社会の心理学	1後・2前後	2			1					兼2
	環境論	1後・2前後	2								兼1
	人文社会科学演習	3前後	2			1					兼1
	哲学	2後・3前後	2								兼1
	倫理学	2後・3前後	2								兼1
	文学	2後・3前後	2								兼1
	教育学	2後・3前後	2				1				兼1
	心理学	2後・3前後	2			1					兼2
	政治学	2後・3前後	2								兼2
	経済学	2後・3前後	2			1					兼2
	法学	2後・3前後	2			1					兼2
	社会学	2後・3前後	2				1				兼2
	企業と経営	2後・3前後	2								兼1
	健康・スポーツ科学実習 I	1前	1			1					兼2
	健康・スポーツ科学実習 II	1後	1			1					兼2
	レクリエーションスポーツ	2前	1								兼1
	生涯スポーツ実技	2後	1								兼1
	学外スポーツ	1・2・3・4	1			2					兼5
	英語 I	1前	1			1					兼2
	英語 II	1前後	1				1				兼2
	英語 III	1前後・2前	1				1				兼3
	英語 IV	1後・2前後	1					1			兼3
	英語 V	2前後	1								兼3
	英語 VI	2後	1								兼3
	英会話 I	1前	1								兼5
	英会話 II	1後	1								兼4
英会話 III	2前	1								兼1	
英会話 IV	2後	1								兼1	
TOEIC I	2後・3前	1				1				兼1	
TOEIC II	3前後	1			1					兼1	
文章表現技術	1後・2前	2				1				兼9	
プレゼンテーション技術	2前後	2				1				兼5	
技術文章の書き方	3前後	2			1					兼1	
身の回りの数学	1・2・3	2			1					兼2	
実感する科学 I	1・2・3	2			2					兼2	
情報リテラシー	1前	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育科目	スタディスキル	1前	1								兼2
	生命倫理	3前後	2								兼1
	暮らしの経済	1後・2前後	2			0					兼2
	日本国憲法	1後・2前後	2			0					兼3
	日本近現代史	1後・2前後	2								兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後	2			0					兼1
	アジアの文化と社会	1後・2前後	2								兼1
	少子高齢化と社会問題	1後・3前後	2				0				兼1
	マスメディア論	1後・2前後	2				0				兼2
	宗教と倫理	1後・2前後	2								兼1
	比較文化論	1後・2前後	2				0				兼1
	芸術論	1後・2前後	2								兼1
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2								兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2								兼2
	現代社会の心理学	1後・2前後	2			0					兼3
	環境論	1後・2前後	2								兼2
	人文社会科学演習	3前後	2			0					兼3
	哲学	2後・3前後	2								兼2
	倫理学	2後・3前後	2								兼1
	文学	2後・3前後	2								兼2
	教育学	2後・3前後	2				0				兼2
	心理学	2後・3前後	2			0					兼3
	政治学	2後・3前後	2								兼2
	経済学	2後・3前後	2			0					兼3
	法学	2後・3前後	2			0					兼2
	社会学	2後・3前後	2				0				兼2
	企業と経営	2後・3前後	2								兼1
	健康・スポーツ科学実習 I	1前	1			0					兼3
	健康・スポーツ科学実習 II	1後	1			0					兼1
	レクリエーションスポーツ	2前	1								兼2
	生涯スポーツ実技	2後	1								兼2
	学外スポーツ	1・2・3・4	1			0					兼2
	英語 I	1前	1			0					兼2
	英語 II	1前後	1			0		0			兼5
	英語 III	1前後・2前	1			0					兼9
	英語 IV	1後・2前後	1			0		0			兼9
	英語 V	2前後	1								兼5
	英語 VI	2後	1								兼2
	英会話 I	1前	1								兼2
	英会話 II	1後	1								兼2
英会話 III(未開講)	2前	1								兼1	
英会話 IV(未開講)	2後	1								兼1	
総合英語演習	1前後	1								兼1	
TOEIC I	2後・3前	1				0				兼2	
TOEIC II	3前後	1			0					兼2	
文章表現技術	1後・2前	2				0				兼13	
プレゼンテーション技術	2前後	2				0				兼7	
技術文章の書き方	3前後	2			0					兼1	
身の回りの数学	1・2・3	2			0					兼2	
実感する科学 I	1・2・3	2			0					兼1	
情報リテラシー	1前	2				0				兼2	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医学概論	1前	2			1						
	解剖学	1前	2			1						
	基礎医学実習	1後	2			5	3		1			
	公衆衛生学	1後	2									兼1
	生理学	1後	2				1					
	病理学	2前	2			1						
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	2									兼1
	薬理学	2後	2									兼1
	看護学概論	2前	2									兼1
	電気工学 I (直流回路、交流回路)	1前	2			1						
	電気工学 II (過渡現象、電磁気学)	1後	2			1						
	電気工学実習	1後	1			1						
	電子工学 I (基礎)	2前	2				1					
	電子工学 II (発展)	2後	2				1					
	電子工学実習	2後	1				1					
	医用電気電子工学実習	3前		1			1					
	機械工学	1後	2			1						
	機械工学演習	1後	1			1						
	材料工学	2後	2				1					
	計測工学	2前	2			1						
	応用数学	1前	2			1						
	応用数学演習	1前	1			1						
	医療統計学	2後		1			1					
	システム制御工学 I (基礎)	3前	2			1						
	システム制御工学 II (発展)	3後	2			1						
	システム制御工学実習	3前	1			1						
	情報処理工学	1後	2			1						
	情報処理工学実習	1後	1			1						
	医療情報セキュリティ	3後		2			1					兼1
	医用工学概論	1前	2			1						
	生体計測機器学 I (基礎)	1後	2				1					
	生体計測機器学 II (発展)	2前	2			1						
	生体計測機器学実習	2前	2			5	3		1			
	生体物性工学	3前	2				1					
	医用機器学概論	1前	2			1						
	医用治療機器学 I (基礎)	2前	2				1					
	医用治療機器学 II (発展)	2後	2						1			
	医用治療機器学実習	2後	2			2	1		1			
	放射線概論	3前		2		1						
画像診断機器学	3後		2		1							
生体機能代行装置学 I (基礎)	2前	2				1						
生体機能代行装置学 II (発展)	2後	2			1							
血液浄化装置学	2後	2			1							
呼吸療法装置学	3前	2				1						
体外循環装置学	3後	2						1				
生体機能代行装置学実習 I (基礎)	3前	2			2	1		1				
生体機能代行装置学実習 II (発展)	3後	1			2	1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医学概論	1前	2			1	0					
	解剖学	1前	2			1	0					
	基礎医学実習	1後	2			4	2		1			
	公衆衛生学	1後	2									兼1
	生理学	1後	2				1	0				
	病理学	2前	2				1					
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	2									兼1
	薬理学	2後	2									兼1
	看護学概論	2前	2									兼8
	電気工学 I (直流回路、交流回路)	1前	2				1					
	電気工学 II (過渡現象、電磁気学)	1後	2				1					
	電気工学実習	1後	1				1					兼1
	電子工学 I (基礎)	2前	2					1				
	電子工学 II (発展)	2後	2					1				
	電子工学実習	2後	1					1				兼1
	医用電気電子工学実習	3前		1				1				兼1
	機械工学	1後	2				1					
	機械工学演習	1後	1				1					
	材料工学	2後	2				1	1				兼4
	計測工学	2前	2				1					
	応用数学	1前	2				1					
	応用数学演習	1前	1				1					
	医療統計学	2後		1			1	0				
	システム制御工学 I (基礎)	3前	2				1					
	システム制御工学 II (発展)	3後	2				1					
	システム制御工学実習	3前	1				1					
	情報処理工学	1後	2				1					
	情報処理工学実習	1後	1				1					
	医療情報セキュリティ	3後		2				1				兼1
	医用工学概論	1前	2				1					
	生体計測機器学 I (基礎)	1後	2					1				
	生体計測機器学 II (発展)	2前	2				1					
	生体計測機器学実習	2前	2				6	2		1		
	生体物性工学	3前	2					1				
	医用機器学概論	1前	2				1					
	医用治療機器学 I (基礎)	2前	2					1				
	医用治療機器学 II (発展)	2後	2							1		
	医用治療機器学実習	2後	2			2	1		1			兼3
	放射線概論	3前		2			1					
画像診断機器学	3後		2			1						
生体機能代行装置学 I (基礎)	2前	2					1					
生体機能代行装置学 II (発展)	2後	2					1					
血液浄化装置学	2後	2				1						
呼吸療法装置学	3前	2					1					
体外循環装置学	3後	2							1			
生体機能代行装置学実習 I (基礎)	3前	2			2	1		1				
生体機能代行装置学実習 II (発展)	3後	1			2	1		1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用機器安全管理学実習	3後	2							1		
	関係法規	2後	2			1						
	人間工学	2後	2	2		1						
	臨床人間工学	3前	2	2		1						
	臨床医学総論Ⅰ <small>(外科、内科、感染症等)</small>	2後	2									兼1
	臨床医学総論Ⅱ <small>(腎臓泌尿器系、消化器系等)</small>	3前	2									兼1
	臨床医学総論Ⅲ <small>(麻酔科学、手術部医学)</small>	3後	2									兼1
	臨床検査概論	3前	2	2								兼1
	救急救命医学	3後	2	2								兼1
	チーム医療論	4前	2	2		2	1		1			
	臨床実習	4前	4	4		2	1		1			
臨床工学セミナー	4前	4	2		5	3		1				
卒業研究	4通	4	4		5	3		1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用機器安全管理学実習	3後	2				2	1		1		
	関係法規	2後	2			1						
	人間工学	2後	2	2		1						
	臨床人間工学	3前	2	2		1						
	臨床医学総論Ⅰ <small>(外科、内科、感染症等)</small>	2後	2									兼2
	臨床医学総論Ⅱ <small>(腎臓泌尿器系、消化器系等)</small>	3前	2									兼2
	臨床医学総論Ⅲ <small>(麻酔科学、手術部医学)</small>	3後	2									兼2
	臨床検査概論	3前	2	2		1						兼1
	救急救命医学	3後	2	2								兼3
	チーム医療論	4前	2	2		2	1		1			兼1
	臨床実習	4前	4	4		2	0		1			
臨床工学セミナー	4前	4	2		6	2		1				
卒業研究	4通	4	4		6	2		1				

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤教育科目	スタディスキル	1前	1									兼1
	生命倫理	3前後	2									兼1
	暮らしの経済	1後・2前後	2			1						兼1
	日本国憲法	1後・2前後	2			0						兼1
	日本近現代史	1後・2前後	2									兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後	2			1						兼1
	アジアの文化と社会	1後・2前後	2									兼1
	少子高齢化と社会問題	1後・2前後	2				1					兼1
	マスメディア論	1後・2前後	2				0					兼1
	宗教と倫理	1後・2前後	2					1				兼1
	比較文化論	1後・2前後	2					1				兼1
	芸術論	1後・2前後	2									兼1
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2									兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2									兼1
	現代社会の心理学	1後・2前後	2			0						兼2
	環境論	1後・2前後	2									兼1
	人文社会科学演習	3前後	2			1						兼1
	哲学	2後・3前後	2									兼1
	倫理学	2後・3前後	2									兼1
	文学	2後・3前後	2									兼1
	教育学	2後・3前後	2				1					兼1
	心理学	2後・3前後	2				1					兼2
	政治学	2後・3前後	2									兼2
	経済学	2後・3前後	2				1					兼2
	法学	2後・3前後	2				1					兼2
	社会学	2後・3前後	2					1				兼2
	企業と経営	2後・3前後	2									兼1
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1			1						兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1			1						兼2
	レクリエーションスポーツ	2前	1									兼1
	生涯スポーツ実技	2後	1									兼1
	学外スポーツ	1-2-3-4	1			2						兼2
	英語Ⅰ	1前	1			1						兼2
	英語Ⅱ	1前後	1				0					兼2
	英語Ⅲ	1前後・2前	1			2						兼2
英語Ⅳ	1後・2前後	1				1					兼1	
英語Ⅴ	2前後	1									兼3	
英語Ⅵ	2後	1									兼3	
英会話Ⅰ	1前	1									兼9	
英会話Ⅱ	1後	1									兼7	
英会話Ⅲ	2前	1									兼1	
英会話Ⅳ	2後	1									兼1	
TOEICⅠ	2後・3前	1				1					兼1	
TOEICⅡ	3前後	1			1						兼1	
文章表現技術	1後・2前	2				0					兼8	
プレゼンテーション技術	2前後	2					1				兼5	
技術文章の書き方	3前後	2				1					兼1	
身の回りの数学	1-2-3	2				1					兼2	
実感する科学Ⅰ	1-2-3	2				1					兼1	
情報リテラシー	1前	2									兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤教育科目	スタディスキル	1前	1									兼1
	生命倫理	3前後	2									兼1
	暮らしの経済	1後・2前後	2			1						兼1
	日本国憲法	1後・2前後	2			0						兼1
	日本近現代史	1後・2前後	2									兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後	2			1						兼1
	アジアの文化と社会	1後・2前後	2									兼1
	少子高齢化と社会問題	1後・2前後	2				1					兼1
	マスメディア論	1後・2前後	2				0					兼1
	宗教と倫理	1後・2前後	2					0				兼1
	比較文化論	1後・2前後	2					0				兼1
	芸術論	1後・2前後	2									兼1
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2									兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2									兼1
	現代社会の心理学	1後・2前後	2			0						兼2
	環境論	1後・2前後	2									兼1
	人文社会科学演習	3前後	2			0						兼1
	哲学	2後・3前後	2									兼1
	倫理学	2後・3前後	2									兼1
	文学	2後・3前後	2									兼2
	教育学	2後・3前後	2				1					兼1
	心理学	2後・3前後	2				0					兼2
	政治学	2後・3前後	2									兼2
	経済学	2後・3前後	2				1					兼2
	法学	2後・3前後	2				1					兼2
	社会学	2後・3前後	2					1				兼2
	企業と経営	2後・3前後	2									兼1
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1			0						兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1			0						兼2
	レクリエーションスポーツ	2前	1									兼1
	生涯スポーツ実技	2後	1									兼1
	学外スポーツ	1-2-3-4	1			0						兼2
	英語Ⅰ	1前	1			0						兼2
	英語Ⅱ	1前後	1				0					兼3
	英語Ⅲ	1前後・2前	1			0						兼4
英語Ⅳ	1後・2前後	1			0		0				兼6	
英語Ⅴ	2前後	1									兼4	
英語Ⅵ	2後	1									兼2	
英会話Ⅰ	1前	1									兼2	
英会話Ⅱ	1後	1									兼2	
英会話Ⅲ(未開講)	2前	1									兼1	
英会話Ⅳ(未開講)	2後	1									兼1	
総合英語演習	1前後	1									兼1	
TOEICⅠ	2後・3前	1				0					兼2	
TOEICⅡ	3前後	1			0						兼1	
文章表現技術	1後・2前	2				0					兼10	
プレゼンテーション技術	2前後	2					0				兼5	
技術文章の書き方	3前後	2				0					兼1	
身の回りの数学	1-2-3	2				0					兼2	
実感する科学Ⅰ	1-2-3	2				1					兼1	
情報リテラシー	1前	2									兼2	

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医学概論	1前	2			1						
	解剖学	1前	2			1						
	基礎医学実習	1後	2			5	3		1			
	公衆衛生学	1後	2									兼1
	生理学	1後	2				1					
	病理学	2前	2			1						兼1
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	2									兼1
	薬理学	2後	2									兼1
	看護学概論	2前	2									兼1
	電気工学Ⅰ(直流回路、交流回路)	1前	2			1						
	電気工学Ⅱ(過渡現象、電磁気学)	1後	2			1						
	電気工学実習	1後	1			1						
	電子工学Ⅰ(基礎)	2前	2				1					
	電子工学Ⅱ(発展)	2後	2				1					
	電子工学実習	2後	1				1					
	医用電気電子工学実習	3前		1			1					
	機械工学	1後	2			1						
	機械工学演習	1後	1			1						
	材料工学	2後	2				1					
	計測工学	2前	2			1						
	応用数学	1前	2			1						
	応用数学演習	1前	1			1						
	医療統計学	2後		1			1					
	システム制御工学Ⅰ(基礎)	3前	2			1						
	システム制御工学Ⅱ(発展)	3後	2			1						
	システム制御工学実習	3前	1			1						
	情報処理工学	1後	2			1						
	情報処理工学実習	1後	1			1						
	医療情報セキュリティ	3後		2			1					兼1
	医用工学概論	1前	2			1						
	生体計測機器学Ⅰ(基礎)	1後	2				1					
	生体計測機器学Ⅱ(発展)	2前	2			1						
	生体計測機器学実習	2前	2			5	3		1			
	生体物性工学	3前	2				1					
	医用機器学概論	1前	2			1						
	医用治療機器学Ⅰ(基礎)	2前	2				1					
	医用治療機器学Ⅱ(発展)	2後	2						1			
	医用治療機器学実習	2後	2			2	1		1			
	放射線概論	3前		2		1						
画像診断機器学	3後		2		1							
生体機能代行装置学Ⅰ(基礎)	2前	2				1						
生体機能代行装置学Ⅱ(発展)	2後	2			1							
血液浄化装置学	2後	2			1							
呼吸療法装置学	3前	2				1						
体外循環装置学	3後	2						1				
生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎)	3前	2			2	1		1				
生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展)	3後	1			2	1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医学概論	1前	2			1	0					
	解剖学	1前	2			1	0					
	基礎医学実習	1後	2			6	2		1			
	公衆衛生学	1後	2									兼1
	生理学	1後	2				1	0				
	病理学	2前	2				1					兼1
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	2									兼1
	薬理学	2後	2									兼1
	看護学概論	2前	2									兼1
	電気工学Ⅰ(直流回路、交流回路)	1前	2				1					
	電気工学Ⅱ(過渡現象、電磁気学)	1後	2				1					
	電気工学実習	1後	1				1					
	電子工学Ⅰ(基礎)	2前	2					1				
	電子工学Ⅱ(発展)	2後	2					1				
	電子工学実習	2後	1					1				
	医用電気電子工学実習	3前		1				1				
	機械工学	1後	2				1					
	機械工学演習	1後	1				1					
	材料工学	2後	2					1				
	計測工学	2前	2				1					
	応用数学	2前	2				1					
	応用数学演習	1前	1				1					
	医療統計学	2後		1			1	0				
	システム制御工学Ⅰ(基礎)	3前	2				1					
	システム制御工学Ⅱ(発展)	3後	2				1					
	システム制御工学実習	3前	1				1					
	情報処理工学	1後	2				1					
	情報処理工学実習	1後	1				1					
	医療情報セキュリティ	3後		2				1				兼1
	医用工学概論	1前	2				1					
	生体計測機器学Ⅰ(基礎)	1後	2					1				
	生体計測機器学Ⅱ(発展)	2前	2				1					
	生体計測機器学実習	2前	2				6	2		1		
	生体物性工学	3前	2					1				
	医用機器学概論	1前	2				1					
	医用治療機器学Ⅰ(基礎)	2前	2					1				
	医用治療機器学Ⅱ(発展)	2後	2							1		
	医用治療機器学実習	2後	2			2	1		1			兼3
	放射線概論	3前		2			1					
画像診断機器学	3後		2			1						
生体機能代行装置学Ⅰ(基礎)	2前	2					1					
生体機能代行装置学Ⅱ(発展)	2後	2				1						
血液浄化装置学	2後	2				1						
呼吸療法装置学	3前	2					1					
体外循環装置学	3後	2							1			
生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎)	3前	2				2	1		1			
生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展)	3後	1				2	1		1			

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器安全管理学	3前	2			1						
	医用機器安全管理学実習	3後	2						1			
	関係法規	2後	2			1						
	人間工学	2後	2	2		1						
	臨床人間工学	3前	2	2		1						
	臨床医学総論Ⅰ <small>(外科、内科、感染症等)</small>	2後	2									兼1
	臨床医学総論Ⅱ <small>(腎臓泌尿器系、消化器系等)</small>	3前	2									兼1
	臨床医学総論Ⅲ <small>(麻酔科学、手術部医学)</small>	3後	2									兼1
	臨床検査概論	3前	2	2								兼1
	救急救命医学	3後	2	2								兼1
	チーム医療論	4前	2	2		2	1		1			
	臨床実習	4前	4	4		2	1		1			
	臨床工学セミナー	4前	2	2		5	3		1			
卒業研究	4通	4	4		5	3		1				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用機器安全管理学実習	3後	2							1		
	関係法規	2後	2			1						
	人間工学	2後	2	2		1						
	臨床人間工学	3前	2	2		1						
	臨床医学総論Ⅰ <small>(外科、内科、感染症等)</small>	2後	2									兼1
	臨床医学総論Ⅱ <small>(腎臓泌尿器系、消化器系等)</small>	3前	2									兼1
	臨床医学総論Ⅲ <small>(麻酔科学、手術部医学)</small>	3後	2									兼1
	臨床検査概論	3前	2	2								兼1
	救急救命医学	3後	2	2								兼1
	チーム医療論	4前	2	2		2	1		1			
	臨床実習	4前	4	4		2	1		1			
	臨床工学セミナー	4前	2	2		6	2		1			
卒業研究	4通	4	4		6	2		1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤教育科目	スタディスキル	1前	1									兼1
	生命倫理	3前後	2									兼1
	暮らしの経済	1後・2前後	2			0						兼1
	日本国憲法	1後・2前後	2			0						兼2
	日本近現代史	1後・2前後	2									兼1
	ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後	2			0						兼1
	アジアの文化と社会	1後・2前後	2									兼1
	少子高齢化と社会問題	1後・2前後	2				0					兼1
	マスメディア論	1後・2前後	2				0					兼1
	宗教と倫理	1後・2前後	2									兼1
	比較文化論	1後・2前後	2				0					兼1
	芸術論	1後・2前後	2									兼1
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2									兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2									兼1
	現代社会の心理学	1後・2前後	2				0					兼2
	環境論	1後・2前後	2									兼1
	人文社会科学演習	3前後	2				0					兼4
	哲学	2後・3前後	2									兼1
	倫理学	2後・3前後	2									兼1
	文学	2後・3前後	2									兼2
	教育学	2後・3前後	2				0					兼1
	心理学	2後・3前後	2				0					兼2
	政治学	2後・3前後	2									兼2
	経済学	2後・3前後	2				0					兼2
	法学	2後・3前後	2				0					兼2
	社会学	2後・3前後	2					0				兼2
	企業と経営	2後・3前後	2									兼1
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1				0					兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1				0					兼1
	レクリエーションスポーツ	2前	1									兼1
	生涯スポーツ実技	2後	1									兼1
	学外スポーツ	1・2・3・4	1				0					兼2
	英語Ⅰ	1前	1				0					兼2
	英語Ⅱ	1前後	1				0	0				兼5
	英語Ⅲ	1前後・2前	1				0	0				兼7
	英語Ⅳ	1後・2前後	1				0	0				兼7
	英語Ⅴ	2前後	1									兼4
	英語Ⅵ	2後	1									兼2
	英会話Ⅰ	1前	1									兼2
	英会話Ⅱ	1後	1									兼2
	英会話Ⅲ(未開講)	2前	1									兼1
	英会話Ⅳ(未開講)	2後	1									兼1
	総合英語演習	1前後	1									兼1
	TOEICⅠ	2後・3前	1					0				兼2
	TOEICⅡ	3前後	1				0					兼2
	文章表現技術	1後・2前	2					0				兼13
	プレゼンテーション技術	2前後	2					0				兼6
技術文章の書き方	3前後	2				0					兼1	
身の回りの数学	1・2・3	2				0					兼2	
実感する科学Ⅰ	1・2・3	2				1					兼1	
情報リテラシー	1前	2					0				兼2	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	医学概論	1前	2			1	0					
	解剖学	1前	2			1	0					
	基礎医学実習	1後	2			6	2			1		
	公衆衛生学	1後	2									兼1
	生理学	1後	2			1	0					
	病理学	2前	2			1						
	生化学	2前	2									兼1
	免疫学	2後	2									兼1
	薬理学	2後	2									兼1
	看護学概論	2前	2									兼1
	電気工学 I (直流通路、交流回路)	1前	2			1						
	電気工学 II (過渡現象、電磁気学)	1後	2			1						
	電気工学実習	1後	1			1						
	電子工学 I (基礎)	2前	2					1				
	電子工学 II (発展)	2後	2					1				
	電子工学実習	2後	1					1				
	医用電気電子工学実習	3前		1				1				
	機械工学	1後	2			1						
	機械工学演習	1後	1			1						
	材料工学	2後	2					1				
	計測工学	2前	2			1						
	応用数学	1前	2			1						
	応用数学演習	1前	1			1						
	医療統計学	2後		1		1	0					
	システム制御工学 I (基礎)	3前	2			1						
	システム制御工学 II (発展)	3後	2			1						
	システム制御工学実習	3前	1			1						
	情報処理工学	1後	2			1						
	情報処理工学実習	1後	1			1						
	医療情報セキュリティ	3後		2				1				兼1
	医用工学概論	1前	2			1						
	生体計測機器学 I (基礎)	1後	2					1				
	生体計測機器学 II (発展)	2前	2			1						
	生体計測機器学実習	2前	2			6	2			1		
	生体物性工学	3前	2					1				
	医用機器学概論	1前	2			1						
	医用治療機器学 I (基礎)	2前	2					1				
	医用治療機器学 II (発展)	2後	2							1		
	医用治療機器学実習	2後	2			2	1			1		兼3
	放射線概論	3前		2		1						
	画像診断機器学	3後		2		1						
	生体機能代行装置学 I (基礎)	2前	2					1				
	生体機能代行装置学 II (発展)	2後	2			1						
	血液浄化装置学	2後	2			1						
	呼吸療法装置学	3前	2					1				
	体外循環装置学	3後	2							1		
	生体機能代行装置学実習 I (基礎)	3前	2			2	1			1		
	生体機能代行装置学実習 II (発展)	3後	1			2	1			1		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用機器安全管理学実習	3後	2			2	1			1		
	関係法規	2後	2			1						
	人間工学	2後		2		1						
	臨床人間工学	3前		2		1						
	臨床医学総論Ⅰ(外科、内科、感染症等)	2後	2									兼1
	臨床医学総論Ⅱ(腎臓泌尿器系、消化器系等)	3前	2									兼1
	臨床医学総論Ⅲ(麻酔科学、手術部医学)	3後	2									兼1
	臨床検査概論	3前		2		1						兼1
	救急救命医学	3後		2								兼1
	チーム医療論	4前		2		2	1			1		
	臨床実習	4前	4			2	1			1		
	臨床工学セミナー	4前		2		6	2			1		
卒業研究	4通	4			6	2			1			

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

特になし。

【平成28年度】

- ・ 担当教員の辞退により「比較文化論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「人文社会科学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「健康・スポーツ科学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「健康・スポーツ科学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「学外スポーツ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「英語Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「英語Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・ 「英会話Ⅲ」履修希望者なしのため未開講
- ・ 「英会話Ⅳ」履修希望者なしのため未開講
- ・ カリキュラム充実のため「総合英語演習」科目を追加
- ・ 担当教員の辞退により「TOIECⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「TOIECⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「プレゼンテーション技術」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の辞退により「技術文章の書き方」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「医学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「解剖学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「基礎医学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」「教授5」から「教授6」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「生理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「医療統計学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「生体計測機器学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「教授5」から「教授6」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「臨床工学セミナー」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「教授5」から「教授6」に変更
- ・ 担当教員の昇格により「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「教授5」から「教授6」に変更

【平成29年度】

- ・ 「英会話Ⅲ」履修希望者なしのため未開講
- ・ 「英会話Ⅳ」履修希望者なしのため未開講
- ・ 担当教員追加により「医用機器安全管理学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・ 「英会話Ⅲ」履修希望者なしのため未開講
- ・ 「英会話Ⅳ」履修希望者なしのため未開講
- ・ 担当教員の辞退により「基礎医学実習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」に変更。
- ・ 担当教員の追加により「材料工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の辞退により「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
53 科目	59 科目	0 科目	112 科目	53 科目 [ ±0 ]	60 科目 [ 1 ]	0 科目 [ ±0 ]	113 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 【平成30年度該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【平成30年度該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年度・平成28年度・平成29年度・平成30年度とも授業科目を未開講または廃止なし。
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{112} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	87,669.16㎡	0 ㎡	0 ㎡	87,669.16㎡						
	運 動 場 用 地	38,015.93㎡	0 ㎡	0 ㎡	38,015.93㎡						
	小 計	125,685.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	125,685.09㎡						
	そ の 他	8,818.66㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,818.66㎡						
	合 計	134,503.75㎡	0 ㎡	0 ㎡	134,503.75㎡						
(2) 校 舎	専 用	102,934.80㎡	0 ㎡	共用する他の 学校等の専用 0 ㎡	102,934.80㎡	教育研究モデル生活棟 新築(2632.47㎡：他 学科使用)の為(28) 建築計画と登記上の面 積の誤差が生じたため (27)					
		400,302.33㎡			400,302.33㎡						
		400,677.69㎡			400,677.69㎡						
		( 102,934.80㎡)			( 102,934.80㎡)						
		-( 100,302.33㎡)			-( 100,302.33㎡)						
		-( 100,677.69㎡)			-( 100,677.69㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	77室	演 習 室	34室	実験実習室	94室	情報処理学習施設	14室 (補助職員 3人)	語学学習施設	1室 (補助職員 0人)	大学全体
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		工学部 臨床工学科			15 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]	点	点	点
	工学部 臨床工学科	冊	種	種	点	点	点				
		1,000 [150]	11 [ 0]	1 [ 0]	47	700	41				
		(659 [58])	<del>40 [ 0]</del>		38	652	34				
		<del>(497 [ 9])</del>			28						
	( 11 [ 0])		<del>( 38 )</del>								
	<del>(393 [ 9])</del>	<del>( 0 [ 0])</del>	<del>( 28 )</del>			( 41 )					
	<del>(265 [ 4])</del>	<del>( 0 [ 0])</del>	<del>( 20 )</del>								
	<del>(1,000 [150])</del>	<del>(10 [ 0])</del>	( 1 [ 0])	<del>( 20 )</del>	( 651 )	<del>( 34 )</del>					
計	冊	種	種	点	点	点					
	1,000 [150]	11 [ 0]	1 [ 0]	38	700	41					
	(497 [ 9])	<del>40 [ 0]</del>		28	652	34					
	<del>(393 [ 9])</del>	( 11 [ 0])		<del>( 38 )</del>							
	<del>(265 [ 4])</del>	<del>( 0 [ 0])</del>	<del>( 28 )</del>			( 41 )					
	<del>(1,000 [150])</del>	<del>(10 [ 0])</del>	( 1 [ 0])	<del>( 20 )</del>	( 651 )	<del>( 34 )</del>					
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	5,021.54㎡		629席		232,000冊		大学全体				

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体
	6,706.61㎡		野球場1面、サッカー場1面、テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む 既存学科で所蔵している図書・学術雑誌が多数あったため、新規購入書籍数は減少した。新設学科の教育充実のため設備購入は増加した(27)
		教員1人当り研究費等	209千円	209千円	図書購入費	1,320千円 -6,000千円	1,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	1,344千円	1,344千円	設備購入費	100,209千円 -99,967千円	10,584千円	10,000千円 -0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							
		1,650千円	1,470千円	1,480千円	1,490千円	千円	千円		

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	神奈川県立工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>工学部</b>									
機械工学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.13	昭和50年度	神奈川県厚木市下荻野1030番地	
電気電子情報工学科	4	78	-	296	学士(工学)	1.12	昭和50年度	同上	入学定員：平成27・28年度は70名
応用化学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.09	昭和50年度	同上	
臨床工学科	4	40	-	160	学士(工学)	1.10	平成27年度	同上	
<b>情報学部</b>									
情報工学科	4	155	-	590	学士(工学)	1.11	平成15年度	同上	入学定員：平成27・28年度は140名
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	4	100	-	390	学士(工学)	1.07	平成16年度	同上	入学定員：平成27・28年度は95名
情報メディア学科	4	165	-	630	学士(工学)	1.15	平成16年度	同上	入学定員：平成27・28年度は150名
<b>創造工学部</b>									
自動車システム開発工学科	4	55	-	210	学士(工学)	1.03	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は50名
ロボット・メカトロニクス学科	4	50	-	180	学士(工学)	1.16	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は40名
ホームエレクトロニクス開発学科	4	40	-	160	学士(工学)	1.19	平成20年度	同上	
<b>応用バイオ科学部</b>									
応用バイオ科学科	4	125	-	490	学士(工学)	1.07	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は120名
栄養生命科学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	1.06	平成22年度	同上	
<b>看護学部</b>									
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.09	平成27年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
工学研究科 博士前期課程								
機械工学専攻	2	14	-	28	修士 (工学)	0.78	平成元年度	神奈川県厚木市下荻野1030番地
電気電子工学専攻	2	16	-	32	修士 (工学)	0.75	平成元年度	同上
応用化学・バイオサイエンス専攻	2	16	-	32	修士 (工学)	1.12	平成元年度	同上
機械システム工学専攻	2	14	-	28	修士 (工学)	0.76	平成2年度	同上
情報工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.30	平成5年度	同上
ロボット・メカトロニクスシステム専攻	2	6	-	12	修士 (工学)	1.00	平成22年度	同上
工学研究科 博士後期課程								
機械工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.25	平成5年度	同上
電気電子工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.50	平成6年度	同上
応用化学・バイオサイエンス専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.25	平成5年度	同上
機械システム工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.62	平成5年度	同上
情報工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.75	平成8年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 臨床工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成27年度】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>	氏名(年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	磯村 恒 (66) <平成27年4月>	磯村 恒 (66) <平成27年4月>	磯村 恒 (67) <平成27年4月>	磯村 恒 (68) <平成27年4月>	磯村 恒 (69) <平成27年4月>	基礎医学実習 電気工学Ⅰ (直流回路・交流回路) 電気工学Ⅱ (過度現象・電磁気学) 電気工学実習 システム制御工学Ⅰ (基礎) システム制御工学Ⅱ (発展) システム制御工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 電気工学Ⅰ (直流回路・交流回路) 電気工学Ⅱ (過度現象・電磁気学) 電気工学実習 システム制御工学Ⅰ (基礎) システム制御工学Ⅱ (発展) システム制御工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 電気工学Ⅰ (直流回路・交流回路) 電気工学Ⅱ (過度現象・電磁気学) 電気工学実習 システム制御工学Ⅰ (基礎) システム制御工学Ⅱ (発展) システム制御工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究
専	教授	松尾 崇 (65) <平成27年4月>	松尾 崇 (65) <平成27年4月>	松尾 崇 (66) <平成27年4月>	松尾 崇 (67) <平成27年4月>	松尾 崇 (68) <平成27年4月>	基礎医学実習 病理学 医用工学概論 生体計測機器学Ⅱ(発展) 生体計測機器学実習 放射線概論 画像診断機器学 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 病理学 医用工学概論 生体計測機器学Ⅱ(発展) 生体計測機器学実習 放射線概論 画像診断機器学 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 病理学 医用工学概論 生体計測機器学Ⅱ(発展) 生体計測機器学実習 放射線概論 画像診断機器学 臨床工学セミナー 卒業研究 <b>医用機器安全管理学実習</b>
専	教授	松田 康広 (47) <平成27年4月>	松田 康広 (47) <平成27年4月>	松田 康広 (48) <平成27年4月>	松田 康広 (49) <平成27年4月>	松田 康広 (50) <平成27年4月>	基礎医学実習 機械工学 機械工学演習 計測工学 応用数学 応用数学演習 情報処理工学 情報処理工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 機械工学 機械工学演習 計測工学 応用数学 応用数学演習 情報処理工学 情報処理工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 機械工学 機械工学演習 計測工学 応用数学 応用数学演習 情報処理工学 情報処理工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究
専	教授	鈴木 聡 (48) <平成27年4月>	鈴木 聡 (48) <平成27年4月>	鈴木 聡 (49) <平成27年4月>	鈴木 聡 (50) <平成27年4月>	鈴木 聡 (51) <平成27年4月>	基礎医学実習 生体計測機器学実習 血液浄化装置学 人間工学 臨床人間工学 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 生体計測機器学実習 血液浄化装置学 人間工学 臨床人間工学 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 生体計測機器学実習 血液浄化装置学 人間工学 臨床人間工学 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究
専	教授	山家 敏彦 (60) <平成27年4月>	山家 敏彦 (60) <平成27年4月>	山家 敏彦 (61) <平成27年4月>	山家 敏彦 (62) <平成27年4月>	山家 敏彦 (63) <平成27年4月>	基礎医学実習 生体計測機器学実習 医用機器学概論 生体機能代行装置学Ⅱ (発展) 関係法規 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 生体計測機器学実習 医用機器学概論 生体機能代行装置学Ⅱ (発展) 関係法規 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究	基礎医学実習 生体計測機器学実習 医用機器学概論 生体機能代行装置学Ⅱ (発展) 関係法規 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究



【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	込田 伸夫 (65) <平成27年4月>	ヨーロッパ 歴史と文化 英語 I
兼任	教授	坂場 順子 (66) <平成27年4月>	英語 III
兼任	教授	泉川 喬一 (69) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 I 学外スポーツ
兼任	教授	荒川 勝彦 (60) <平成27年4月>	学外スポーツ 健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 II
兼任	教授	米田 二良 (63) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	教授	藤村 陽 (52) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	教授	三井 和博 (62) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	准教授	岡本 剛 (41) <平成27年4月>	医療情報セキュリティ
兼任	准教授	田辺 基子 (43) <平成27年4月>	教育学
兼任	准教授	三浦 直子 (45) <平成27年4月>	少子高齢化と社会問題 ｼｻﾞﾌﾞﾙ論 社会学
兼任	准教授	師玉 真理 (49) <平成27年4月>	比較文化論 プレゼンテーション技術 文章表現技術 技術文章の書き方
兼任	准教授	大木 富 (57) <平成27年4月>	英語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	込田 伸夫 (65) <平成27年4月>	ヨーロッパ 歴史と文化 英語 I
兼任	教授	坂場 順子 (66) <平成27年4月>	英語 III
兼任	教授	泉川 喬一 (69) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 I 学外スポーツ
兼任	教授	荒川 勝彦 (60) <平成27年4月>	学外スポーツ
兼任	教授	米田 二良 (63) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	教授	藤村 陽 (52) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	准教授	岡本 剛 (41) <平成27年4月>	医療情報セキュリティ
兼任	准教授	田辺 基子 (43) <平成27年4月>	教育学
兼任	准教授	三浦 直子 (45) <平成27年4月>	少子高齢化と社会問題 社会学
兼任	准教授	師玉 真理 (49) <平成27年4月>	比較文化論 プレゼンテーション技術

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	込田 伸夫 (66) <平成27年4月>	ヨーロッパ 歴史と文化 英語 I 英語 III
兼任	教授	坂場 順子 (67) <平成27年4月>	英語 III 英語 II
兼任	教授	泉川 喬一 (70) <平成27年4月>	学外スポーツ
兼任	講師	平山 浩輔 (32) <平成28年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 I ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ 生涯スポーツ実技
兼任	教授	荒川 勝彦 (61) <平成27年4月>	学外スポーツ
兼任	教授	米田 二良 (64) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	教授	藤村 陽 (53) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	准教授	岡本 剛 (42) <平成27年4月>	医療情報セキュリティ
兼任	准教授	田辺 基子 (44) <平成27年4月>	教育学
兼任	教授	三浦 直子 (46) <平成27年4月>	少子高齢化と社会問題 社会学
兼任	准教授	師玉 真理 (50) <平成27年4月>	比較文化論 プレゼンテーション技術 文学 人文社会科学演習
兼任	教授	大木 富 (58) <平成27年4月>	英語 II 総合英語演習 英語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	本田 周二 (36) <平成28年4月>	心理学
兼任	教授	込田 伸夫 (67) <平成27年4月>	ヨーロッパ 歴史と文化 英語 I 英語 III
兼任	教授	坂場 順子 (68) <平成27年4月>	英語 III 英語 II
兼任	教授	泉川 喬一 (71) <平成27年4月>	学外スポーツ
兼任	講師	平山 浩輔 (33) <平成28年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 I ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ 生涯スポーツ実技
兼任	教授	荒川 勝彦 (62) <平成27年4月>	学外スポーツ
兼任	講師	金森 純 (36) <平成28年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 II
兼任	教授	米田 二良 (65) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	教授	藤村 陽 (54) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	准教授	岡本 剛 (43) <平成27年4月>	医療情報セキュリティ
兼任	准教授	田辺 基子 (45) <平成27年4月>	教育学 人文社会科学演習
兼任	教授	三浦 直子 (47) <平成27年4月>	少子高齢化と社会問題 社会学 人文社会科学演習
兼任	教授	師玉 真理 (51) <平成27年4月>	比較文化論 プレゼンテーション技術 文学 人文社会科学演習
兼任	講師	池川 隆司 (54) <平成29年4月>	技術文章の書き方
兼任	講師	小田切 祐嗣 (33) <平成29年4月>	文章表現技術 ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ技術
兼任	教授	大木 富 (59) <平成27年4月>	英語 II 総合英語演習 英語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	本田 周二 (37) <平成28年4月>	心理学
兼任	教授	込田 伸夫 (68) <平成27年4月>	ヨーロッパ 歴史と文化 英語 I 英語 III
兼任	講師	平山 浩輔 (34) <平成28年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 I ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ 生涯スポーツ実技
兼任	教授	荒川 勝彦 (63) <平成27年4月>	学外スポーツ 健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 II ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ
兼任	講師	金森 純 (37) <平成28年4月>	健康・ｽﾎｰﾙ科学実習 II
兼任	教授	米田 二良 (66) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	教授	藤村 陽 (55) <平成27年4月>	実感する科学 I
兼任	准教授	岡本 剛 (44) <平成27年4月>	医療情報セキュリティ
兼任	准教授	田辺 基子 (46) <平成27年4月>	教育学 人文社会科学演習
兼任	教授	三浦 直子 (48) <平成27年4月>	少子高齢化と社会問題 社会学 人文社会科学演習
兼任	教授	師玉 真理 (52) <平成27年4月>	比較文化論 プレゼンテーション技術 文学 人文社会科学演習
兼任	講師	池川 隆司 (55) <平成29年4月>	技術文章の書き方
兼任	講師	小田切 祐嗣 (34) <平成29年4月>	文章表現技術 ﾌﾞﾘｰｼﾝｸﾞｽﾎｰﾙ技術
兼任	教授	大木 富 (60) <平成27年4月>	英語 II 総合英語演習 英語 IV



【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	比嘉 徹徳 (41) <平成27年4月> 文章表現技術
兼任	講師	越川 靖子 (39) <平成27年4月> 企業と経営
兼任	講師	楠 秀樹 (45) <平成27年4月> 生命倫理 マスメディア論
兼任	講師	多田 庶弘 (51) <平成27年4月> 法学 日本国憲法
兼任	講師	堅谷 宏一 (50) <平成27年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	小暮 正人 (54) <平成27年4月> 英語Ⅳ
兼任	講師	宮城 学 (53) <平成27年4月> 英語Ⅱ 英語Ⅳ 英語Ⅵ
兼任	講師	井上 克彦 (70) <平成27年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅵ
兼任	講師	西田 佳子 (49) <平成27年4月> 英語Ⅵ
兼任	講師	浅川 友幸 (36) <平成27年4月> 英語Ⅴ
兼任	講師	佐藤 里野 (34) <平成27年4月> 英語Ⅴ
兼任	講師	森下 早也香 (44) <平成27年4月> 英語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	比嘉 徹徳 (41) <平成27年4月> 文章表現技術
兼任	講師	越川 靖子 (39) <平成27年4月> 企業と経営
兼任	講師	楠 秀樹 (45) <平成27年4月> 生命倫理 マスメディア論
兼任	講師	多田 庶弘 (51) <平成27年4月> 法学 日本国憲法
兼任	講師	堅谷 宏一 (50) <平成27年4月> 英語Ⅱ
兼任	講師	宮城 学 (53) <平成27年4月> 英語Ⅱ
兼任	講師	井上 克彦 (70) <平成27年4月> 英語Ⅵ
兼任	講師	西田 佳子 (49) <平成27年4月> 英語Ⅵ
兼任	講師	浅川 友幸 (36) <平成27年4月> 英語Ⅴ
兼任	講師	佐藤 里野 (34) <平成27年4月> 英語Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	比嘉 徹徳 (42) <平成27年4月> 文章表現技術
兼任	講師	伊藤 泰生 (28) <平成28年4月> 企業と経営
兼任	講師	楠 秀樹 (46) <平成27年4月> 生命倫理 マスメディア論
兼任	講師	多田 庶弘 (52) <平成27年4月> 法学 日本国憲法
兼任	講師	堅谷 宏一 (51) <平成27年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	宮城 学 (54) <平成27年4月> 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	井上 克彦 (71) <平成27年4月> 英語Ⅵ
兼任	講師	佐久間 千尋 (34) <平成28年4月> 英語Ⅵ 英語Ⅴ
兼任	講師	西田 佳子 (50) <平成27年4月> 英語Ⅳ
兼任	講師	浅川 友幸 (37) <平成27年4月> 英語Ⅲ
兼任	講師	松田 麻子 (44) <平成28年4月> 英語Ⅵ 英語Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	坂井 晃介 (30) <平成29年4月> 文章表現技術
兼任	講師	比嘉 徹徳 (43) <平成27年4月> 文章表現技術
兼任	講師	伊藤 泰生 (29) <平成28年4月> 企業と経営
兼任	講師	楠 秀樹 (47) <平成27年4月> 生命倫理 マスメディア論
兼任	講師	多田 庶弘 (53) <平成27年4月> 法学
兼任	講師	堅谷 宏一 (52) <平成27年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	宮城 学 (55) <平成27年4月> 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	井上 克彦 (72) <平成27年4月> 英語Ⅵ
兼任	講師	青木 耕平 (33) <平成29年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅵ
兼任	講師	佐久間 千尋 (35) <平成28年4月> 英語Ⅵ 英語Ⅴ
兼任	講師	西田 佳子 (51) <平成27年4月> 英語Ⅳ
兼任	講師	浅川 友幸 (38) <平成27年4月> 英語Ⅲ
兼任	講師	松田 麻子 (45) <平成28年4月> 英語Ⅵ 英語Ⅴ
兼任	講師	金田 通子 (26) <平成27年4月> 英語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	坂井 晃介 (30) <平成29年4月> 文章表現技術
兼任	講師	比嘉 徹徳 (44) <平成27年4月> 文章表現技術
兼任	講師	伊藤 泰生 (30) <平成28年4月> 企業と経営
兼任	講師	楠 秀樹 (48) <平成27年4月> 生命倫理 マスメディア論
兼任	講師	多田 庶弘 (54) <平成27年4月> 法学
兼任	講師	堅谷 宏一 (53) <平成27年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	宮城 学 (56) <平成27年4月> 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ
兼任	講師	青木 耕平 (34) <平成29年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅵ TOEIC I
兼任	講師	浅川 友幸 (39) <平成27年4月> 英語Ⅴ 英語Ⅲ 英語Ⅵ
兼任	講師	松田 麻子 (46) <平成28年4月> 英語Ⅵ 英語Ⅴ
兼任	講師	森下 早也香 (48) <平成27年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金田 通子 (27) <平成27年4月> 英語Ⅲ

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	四戸 慶介 (31) <平成27年4月>	英語V
兼任	講師	David Brennan (39) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II 英会話 IV
兼任	講師	Andrew Ash (54) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Michael Smith (46) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II 英会話 III
兼任	講師	Michelle Trice (39) <平成27年4月>	英会話 I
兼任	講師	lester walbrugh (39) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	菱山 士朗 (38) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I
兼任	講師	深見 将志 (38) <平成27年4月>	レクリエーションスポーツ 生涯スポーツ実技
兼任	講師	並木 和彦 (52) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 II
兼任	講師	谷戸 光昭 (40) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	講師	松本 圭子 (36) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	Brad Burgess (47) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 III
兼任	講師	David Tsujimoto (33) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	四戸 慶介 (31) <平成27年4月>	英語V 英語IV
兼任	講師	David Brennan (39) <平成27年4月>	英会話 IV
兼任	講師	David Laheist (38) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Justin Rooks (39) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Aaron Harris (37) <平成27年4月>	英会話 I
兼任	講師	深見 将志 (38) <平成27年4月>	レクリエーションスポーツ 生涯スポーツ実技
兼任	講師	並木 和彦 (52) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 II
兼任	講師	谷戸 光昭 (40) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	講師	松本 圭子 (36) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	准教授	吉野 和芳 (46) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	Brad Burgess (47) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 III
兼任	講師	David Tsujimoto (33) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	四戸 慶介 (32) <平成27年4月>	英語V 英語IV
兼任	講師	David Laheist (39) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Justin Rooks (40) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	尾川 翔大 (26) <平成29年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I レクリエーションｽﾎｰﾝ 生涯スポーツ実技
兼任	講師	並木 和彦 (53) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 II 健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I
兼任	講師	谷戸 光昭 (41) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	講師	松本 圭子 (37) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	准教授	吉野 和芳 (47) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	Brad Burgess (47) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 III
兼任	講師	David Tsujimoto (33) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	四戸 慶介 (33) <平成27年4月>	英語V 英語IV
兼任	講師	Justin Rooks (41) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	尾川 翔大 (27) <平成29年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I レクリエーションｽﾎｰﾝ 生涯スポーツ実技
兼任	講師	並木 和彦 (54) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 II 健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	講師	宮崎 尚子 (40) <平成29年4月>	情報リテラシー
兼任	准教授	吉野 和芳 (48) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	Brad Burgess (47) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 III
兼任	講師	David Tsujimoto (33) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	四戸 慶介 (34) <平成27年4月>	英語V 英語IV
兼任	講師	Andrew Ash (57) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Justin Rooks (42) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II
兼任	講師	尾川 翔大 (27) <平成29年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I レクリエーションｽﾎｰﾝ 生涯スポーツ実技
兼任	講師	並木 和彦 (54) <平成27年4月>	健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 II 健康・ｽﾎｰﾝ科学実習 I
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成27年4月>	身の回りの数学
兼任	講師	宮崎 尚子 (41) <平成29年4月>	情報リテラシー
兼任	准教授	吉野 和芳 (49) <平成27年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	Brad Burgess (47) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 III
兼任	講師	David Tsujimoto (33) <平成27年4月>	英会話 I 英会話 II



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

特になし

【平成28年度】

平成28年4月 渡邊紳一が教授に昇任

【平成29年度】

特になし

【平成30年度】

特になし

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
5	3	0	1	9	6	2	0	1	9	6	2	0	1	9
( 5 )	( 3 )	( 0 )	( 1 )	( 9 )						[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授 70 と 65 准教授・講師 歳	0	0
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<工学部 臨床工学科>

### (1) 設置計画変更事項等 (特になし)

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教務委員会(規程別添①)</p> <p>教育開発センター運営委員会(規程別添②)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>教務委員会:月に1回(その他随時)会議を開催。委員として各学科より1~2名選出。 本学科より委員として1名参加。</p> <p>教育開発センター:月に1回(その他随時)会議を開催。各学科より教育開発センター運営委員として1名参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教務委員会:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラム、学籍、成績・進級・卒業、単位認定等の審議及び報告・連絡。</li> </ul> <p>教育開発センター運営委員会:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育のPDCAの実施と検証に関わることがら。</li> <li>・ 教員の教育力向上に関わることがら。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学士課程の構築</li> <li>・ 授業方法について</li> <li>・ 授業評価アンケート</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 教職員研修会</li> </ul>
---

b 実施方法

- ・ 教務委員会・教育開発センターにて発案・協議され、その後大学協議会にて承認がなされ学長により決定される。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート：平成29年度前期・後期各1回行った。
- ・ 教職員研修会：専任教職員全員参加。
- ・ 教員自己点検評価の実施：専任教員、非常勤講師全員提出。平成29年12月に結果の解析・分析結果をまとめ冊子として配布。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートの結果を各教員に報告し、授業方法の改善を促している。また、「授業改善ヒント集」冊子を作成し、全教職員に配布すること、評価の高い授業を授業参観に推奨すること、さらに教員研修会で学力向上に関するテーマを取り上げることにより、教員の授業力向上をはかり、学生の学力レベルアップを目指している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度 前期：7月1日（土）～7月14日（金）および後期：12月9日（土）～12月22日（金）の2回行った。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの大学全体の集計結果およびアンケート結果に対する教員のコメントをつけて「平成29年度 より良い教育を目指して」と題する冊子を作成し、全教職員に配布するとともに学生も閲覧できるようにしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今日の高度な医療機器を適切に運用・操作するためには、医療に関する専門知識や技術のみならず、工学的専門知識や思考法をしっかりと身に付けている人材の育成が急務であるとの社会的要請に基づき本学科を設置した。医療人として必要となる幅広い視野や人間性を養い、臨床工学に関する専門的知識と実践的技術を有し、チーム医療の中で役割を果たすことのできる人材の養成を教育の目的にしている。平成27年4月に入学した1期生、平成28年4月に入学した2期生、平成29年4月に入学した3期生を通して、これまでの教育環境の違いから学生間の学力差があること、特に物理・数学科目に大きな差のあることが明らかになった。よって、全ての開講科目において、学生の理解度や学習困難点を毎回の授業で確認するとともに、学科教員間で学生の状況を共有して教授法を工夫した。また、臨床工学技士の業務や臨床工学科での学びについて十分理解していない学生もみられ、専門科目を重ねることで臨床工学技士になる覚悟を持つよう指導した。学科FD活動として、半期ごとに、全教員の全担当科目について、授業の実施状況、試験・評価の状況を報告し、改善のための議論を行った。

平成30年度に1期生が臨床実習を行うために、実習先施設との受け入れの確認や契約の準備を進めた。就職事務室、国家試験対策室を開設し、就職情報提供と指導、国家試験対策のための学習環境の整備を行った。

また、幅広い視野や人間性を養うために、外部医療施設・関係者との交流、学園祭での学生・教員協働による機器展示など、学生がいろいろな人と接する機会を積極的に設けている。平成29年4月に開催された日本血液浄化技術学会学術大会では多くの学生がボランティアスタッフとして参加し、参加者から好評を得た。

このように、設置目的に関しては、学生受入れ後3年間ではあるが、計画達成に向かって着実に歩んでいる。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成31年1月1日 公表

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員全員及び希望があった学生に各1冊を配布のほか、関連大学および厚木中央図書館へ配付
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年1月末を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるため、4月に点検・評価報告書を提出済。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 8月 1日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。